

令和2年度 前期卒業式 式辞

吹く風に秋の気配が感じられる爽やかな今日の佳き日、PTA会長、保護者の方々のご出席を賜り、ここに令和2年度兵庫県立西宮香風高等学校前期卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました8名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。今日の卒業の日を迎えるまでには、あきらめそうになった日も、くじけそうになった日もあったと思います。しかし、みなさんはやり抜きました。これまでのみなさんの努力に対して、深い敬意を表したいと思います。

保護者並びにご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。立派に卒業の日を迎えられたお子様の姿に、感慨もひとしおのことと存じます。また、この場をお借りいたしまして、これまで本校にお寄せいただきましたご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。

さて、8名の卒業生のみなさんの高校生活最後の半年間は、だれもが想像もしなかったような日々になってしまいました。2ヶ月間に

及ぶ休校のため、前期の授業時間は例年よりも少なくなり、体育祭も中止になるなど、仕方がないこととはいえ、前期卒業のみなさんには本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。その中で、卒業までに経験してもらえてよかったと思うこともありました。休校後、4月半ばから Google drive を通じた教材提供、5月半ばからは classi というアプリを利用した学習課題の配信や HR の連絡、アンケート調査が始まりました。突然のオンラインによる学習支援には、戸惑うことも多かったと思いますが、みなさんはよく対応してくれました。これから社会に飛び立つ卒業生のみなさんにとっても、よい経験になったのではないかと思います。緊急事態宣言下で、混雑する通勤を避けるために在宅勤務が増えましたが、新型コロナウイルス感染症が終息した後もオンラインを利用した業務は増加し、今後の私たちの働き方を大きく変えるものになるでしょう。その一方で、オンラインでは代替できず、人と人が直接対面することが避けられない、あるいは不可欠な仕事があることもわかりました。

未来予測が難しい、今、西宮香風高校を巣立つみなさんに3つのことをお伝えたいと思います。

1つ目は学び続けて欲しいということです。社会の大きな変化の中でよく生きるために、「なりたい自分」を心に描きながら、西宮香風高校で学んだことを土台に、これからも学び続けてください。学びの場は学校だけに限りません。いつでも、どこにでも、学びのチャンスはあります。そして、みなさんひとりひとりが学び続ける営みが、未来の社会を創ることにつながるでしょう。

2つ目は挑戦する勇気を持ってほしいということです。新しいことにチャレンジする自分、困難に立ち向かう自分、粘り強くあきらめない自分に、誇りを持ってください。挑戦してもうまくいかないことが時にはあるでしょう。しかし、挑戦し続けるあなたのことを温かく見守り、応援してくれる人が必ずいます。自分の可能性を信じて、夢に向かって一歩踏み出してください。

3つ目は幸せな大人になってほしいということです。何が「幸せ」かは、決まっていません。「幸せ」の形は人それぞれです。自分の人生を「幸せ」と思うのはあなた自身です。周りに流されず、周りに合わせすぎず、迷った時や悩んだ時は、自分の本当の気持ちをもう一人の自分がていねいに尋ねてみてください。

あなたの人生は、あなた自身のものであります。どうか自分を大切に、そして幸せな人生を送られることを心からお祈りし、式辞といたします。

令和2年9月30日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子